

貫井の風

令和4年度 4月号

NO. 1

練馬区立貫井中学校 学校だより

「私にできることは小さなこと。
でも感謝してできたらきっと大きなことだ。」(星野富弘)

校長 桐野 和之

皆さんにお願いがあります。自分のタブレットを利用して調べて欲しいことがあります。それは星野富弘さんという方の描いた作品をぜひ見て欲しいのです。実は星野さんは花の絵をたくさん描いています。しかし、一枚の絵を描き上げるのに2週間ぐらいかかるそうです。なぜだと思いますか。



星野さんは、今年で77歳になりますが、昔は中学校の保健体育の先生でした。ところが勤めはじめた20代のときに、部活動の指導中に大きなケガをして手足の自由を失ってしまいました。手足を自由に動かせなくなった星野さんは、どうやって絵を描いたかという、口に筆を加えて絵や文字を描(書)いているのです。ですから、どんなに無理をしても一日に描ける時間は2時間程度なのです。それで時間がかかってしまうのです。星野さんは一つ一つの絵に詩を添えているのですが、皆さんに実は調べて知って欲しかったのは、この詩の言葉が大切なことを教えてくれたからです。

「私にできることは小さなこと。でも、それを感謝してできたらきっと大きなことだ」。

星野さんは一枚の絵を描くのにたくさんの時間を使います。どんな色をどのように筆につけるかは、星野さんが奥さんに細かく話してやってもらいます。思ったとおり色になるまで何度もやり直します。奥様が仕事で手伝えないときには星野さんのお母さんが変わり、星野さんの弟夫婦や妹夫婦がそれをすることもあります。そうやってできあがる絵なのです。だから皆さんには画像でも良いのでぜひ見てほしいと思いました。

元保健体育の先生だった星野さんですから、手足が不自由になり動かせなくなったときは、言葉に表せないほど辛かったと思います。ですから、家族にはつい文句を言うこともあったようです。星野さんの詩にこんな言葉があります。

「鏡に映る顔を見ながら思った。もう悪口を言うのはやめよう。私の口から出た言葉を一番近くで聞くのは私の耳だから」。

皆さんもつらいときや嫌なことがあったときに、つい友達や家族にあたって文句を言ったことがありますか。私にはあります。星野さんと同じだったのではないのでしょうか。そんな自分を反省して星野さんはこのような詩を書いたのです。そして、手足を自由に動かせなくなり、自分にできることは小さく限られているけれども、周りの人に感謝して行うことが大切であると気づき、それができたらとても大きいことだと分かったのだと思います。スポーツ選手へのインタビューで、どの選手にも共通していることは、自分を支えてくれた人たちへの感謝をしていることです。おそらく、そうした選手も最初からそうだったわけではなく、さまざまな苦しい経験を繰り返すなかで自分を見つめ、人に感謝することの大切さがわかったのだと思います。

これからの皆さんの人生において、どんな小さなことでも自分一人でできることはほとんどないと思います。時につらいときがありますが、そんなときこそ、星野富弘さんの言葉を思い出してください。

令和4年度 生徒数

学 年	男 子	女 子	合 計
第1学年	80	65	145
第2学年	73	59	132
第3学年	75	69	144
全学年	228	193	421

令和4年度 練馬区立貫井中学校 第60回入学式

4月7日(木)に練馬区立貫井中学校第60回入学式が挙行され、145名の新入生が本校に入学しました。

「新入生歓迎の言葉」

生徒代表

春のうららかな日射しが心地よいこの佳き日。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎します。

皆さんは、これから始まる学校生活への期待に胸を膨らませていたり、慣れない環境に対して不安があったり、友達ができるかと心配になったりしているかもしれません。二年前の私達も同じ思いで入学式を迎えました。しかし、出会った仲間たちと共に過ごし、いろいろな場面で交流を重ねていくうちに、自然と友達が増えていきました。また、分からないことを先輩や先生方から教えていただき、楽しく有意義な学校生活を送ることができるようになっています。もし、不安や心配なことがあっても、たくさんの人との関わりを通して解消されていくはずです。私達も支えていきます。安心して過ごしてください。

さて、中学校生活と聞いて皆さんが思い浮かべることは何でしょうか。やはり、部活動を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。貫井中学校の部活動は、運動部、文化部合わせて十五の部活動があります。活動内容や雰囲気は様々ですが、部活動を通して共にがんばる仲間ができます。目標に向かう中で成長することもできます。活動の見学や体験ができる仮入部期間を活用し、皆さん一人一人に合った部活動を見つけてください。また、貫井中学校にも、小学校の児童会のような、生徒会本部役員、委員会活動があります。学校全体の中での役割をもち、学校をより良くしていくための活動をしていきます。自立心や主体性を育むことができます。是非クラスで立候補し、積極的に参加してください。

私たちの貫井中学校には誇れる伝統があります。生徒全員が率先して行う元気な挨拶です。一人一人が誰に対しても元気に挨拶をすることで、学校全体のよい雰囲気を全校生徒でつくっています。この伝統は私達も先輩から受け継いできた伝統です。私達もこの伝統を残していけるように、皆さんのお手本となる挨拶をしていくので、私達



二年生、三年生の姿を見て、貫井中学校の伝統を学んでください。

夢や希望をもった中学校生活がいよいよ今日から始まります。何か分からないことがあった場合は、先生方や私たち二年生、三年生を頼ってください。私たちもこれまで先輩や先生方にたくさん助けてもらいました。これからは私たちが皆さんを助ける存在となることを約束します。困ったときは互いに手を差し伸べ合いながら、共に明るい貫井中学校を創っていきましょう。

「新入生誓いの言葉」

新入生代表

希望にあふれる輝かしい春を迎えた本日、これから始まる中学校生活に対する期待と不安を抱きながら、私達は練馬区立貫井中学校の入学式を迎えることが出来ました。本日、私達が貫井中学校の一因になることが出来たのは、保護者の方々や先生方、先輩方のおかげです。本当にありがとうございます。

思い返すと、ついこの前まで私達は小学校に通っていました。ランドセルを背負っていた私達が、こうして制服を着て、少し大人に近づいたような気持ちで、いよいよ中学生になった事を実感しながら登校してきました。

中学校という今までとは違う生活をしていく上で多くの期待とわずかな不安があります。勉強の内容が難しくなり、科目ごとに先生が違い、定期テストがあります。また、部活動においては、自分のしたい事を選んで精一杯取り組む事や、目標に向かって努力する事の大切さを知ることが出来ると聞きました。私は、小学校の单元ごとのテスト前でも不安になることがあったので、中学校でも同じように不安になるのではないのかと思いました。その不安を解消するために予習や復習を計画的に行い、自信をもって臨み、やりきったと思えるテストにしたいです。

また、小学校では友達との接し方や、人に対しての思いやりを学んできました。中学校でも、いろいろな個性をもった同級生や私たちよりも経験が豊富で色々な事を知っている先輩方、先生方との関りがあります。少し緊張もしていますが、ワクワクもしています。色々な方々と積極的にお話をして、思いやりをもって意見交換や共感をしていき、共に成長し、良い影響を与えあえる関係を築いていきたいです。私達は今日から、小学生ではなく、一步大人に近づいた中学生です。言われた事だけをやるのではなく、自発的に考えて、自ら行動するようになります。中学校の勉強、部活動、行事などを精一杯楽しみ、昨日よりも、もう一步成長した自分になれるよう、充実した学校生活を送りたいです。

校長先生をはじめ、先生方、先輩方、保護者の皆様、私達のことをあたたかく、時に厳しく、ご指導くださいますよう、よろしくお願ひします。

私達はこれから貫井中学校で学ぶ仲間と共に、一步一步、確実に立派な大人になれるよう進んでいきます。そして一人ひとり助け合い、全力を尽くして、素晴らしい中学生になることをここに誓います。

